放課後等デイサービス
支援プログラム

- 株式会社esque
- 制作日：令和7年3月1日

理念

「らしさ」を活かし
「らしさ」を尊重する

支援方針

えすく笠松の放課後等デイサービスでは、子どもたち一人ひとりの「らしさ」を尊重し、その可能性を最大限に発揮できる環境づくりを目指しています。子どもたちの成長や自立を支えるため、以下の方針に基づき支援を行います。

【挑戦と達成感を育むサポート】

「環境を整え、楽しく、程よいチャレンジで自信を育む」という考えのもと、子どもたちが自分のペースで挑戦し、小さな成功体験を積み重ねられるよう支援します。特性や成長段階に応じた活動や課題を設定し、一人ひとりが達成感を得られる機会を大切にします。こうした成功体験を通じて、自分の可能性に気づき、自ら新たな一歩を踏み出せる力を育む環境づくりを目指します。

【共感とコミュニケーション力を育むサポート】

グループ活動や社会的スキルトレーニングを通じて、思いやりや対話力を育てます。多様な価値観を持つ仲間と協力しながら、次のステップに進む力を身につけられるよう支援します。

【個別支援の充実】

一人ひとりの個性とニーズを把握し、個別に適した支援プログラムを提供します。発達段階や目標に応じて、運動、認知機能トレーニング（学習面）、認知ソーシャルトレーニング（社会面）、認知作業トレーニング（身体面）を組み合わせ、楽しみながら自信を育める場を作ります。

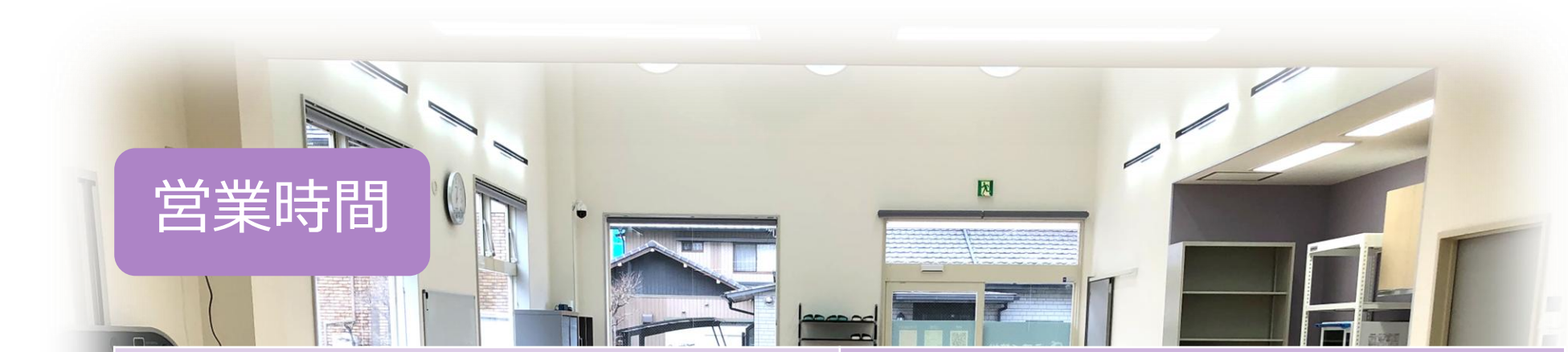
【安全で快適な環境づくり】

デジタル機器や運動器具、学習スペースなど充実した設備を整え、安心して過ごせる環境を提供します。また、遊びの時間の子、学習の時間の子、認知機能トレーニングでクラス分けを行う際には、仕切りのカーテンを活用し、環境を調整しながら支援を行います。さらに、職員全員が安全管理やリスクマネジメント研修を受講し、子どもたちが安全に活動できるよう努めています。

【保護者との連携】

定期報告や面談を通じて、保護者と共に子どもの成長を見守ります。ご家庭との連携を大切にし、より良い支援を提供できるよう努めています。

営業時間



平日	土曜日・祝日・長期休暇
10時00分～19時00分	8時00分～17時00分
送迎サービスあり ※ご相談ください	送迎サービスあり ※ご相談ください

支援内容

本人支援

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語 コミュニケーション	人間関係 社会性
家族支援				
移行支援				
地域支援				

本人支援
【健康・生活】

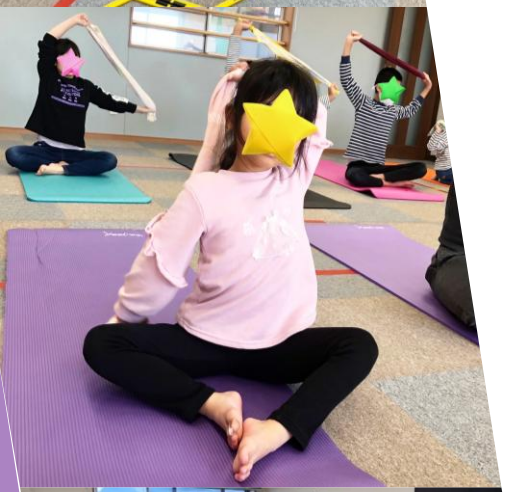
- **【活動スケジュールの設定】**
- 子どもたちが一日の流れを把握し、安心して過ごせるよう、全体のスケジュールを明確に設定します。これにより、次の活動を見通せる環境を整え、計画的に取り組む力を支援します。

- **【健康状態の把握】**
- 日々の健康状態を確認し、体調の変化にいち早く気づけるようサポートします。

- **【活動場所の構造化】**
- 子どもたちが安心して活動できるよう、活動場所を整理整頓し、何がどこにあるかを分かりやすく整備します。

- **【生活スキルの習得】**
- ・整理整頓／物の場所や使い方を学び、整理整頓の習慣を身につけます。
- ・食事／食育を通じて、食材や栄養に関する知識を深め、食への感謝を育てます。また、正しい姿勢やマナーを守りながら、楽しく健康的に食事を取る習慣をサポートします。これにより、自立した健康的な生活の基盤を養います。
- ・身だしなみ／清潔さや服装の整え方を学び、自己管理能力を育みます。
- ・排泄のサポート／自立を目指し、個々のニーズに応じたサポートを行います。
- ・準備と片付け／活動の前後に必要な準備や片付けを自分で行えるよう支援します。

本人支援【運動・感覚】



- **【認知機能トレーニングの準備運動】**
- アジリティリング、ライン、マットを使用し、認知機能トレーニングに向けた準備運動を行います。この準備運動は、脳内でドーパミンやセロトニンの分泌を促し、集中力や記憶力を高める効果があります。また、血流の増加により脳機能が活性化され、学習の効率が向上するとされています。

- **【運動時間の内容と制作活動】**
- 運動時間には、タイミング運動、リズム運動、記憶と運動を組み合わせた運動、協調運動を取り入れています。さらに、季節に応じた制作活動を行い、季節感を楽しみながら創作に取り組める環境を提供します。

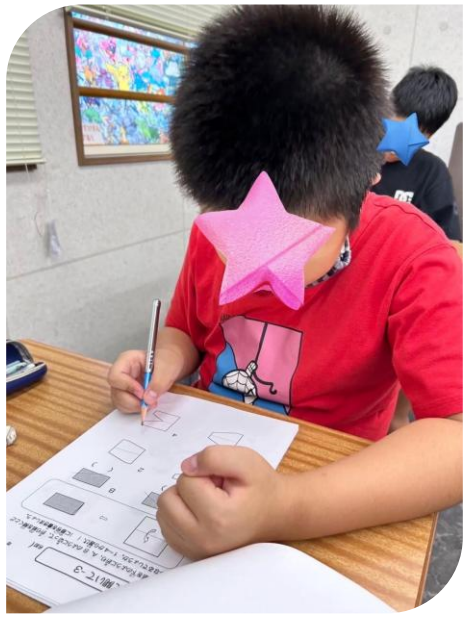
- **【運動プログラムのローテーション】**
- 以下の7種類の運動をローテーションで実施し、毎日異なる内容を提供します。
- ①バランスクッション
- ②サーキットトレーニング
- ③認知作業トレーニング（新聞帽を使用）
- ④ストレッチ
- ⑤バランスボード
- ⑥ボール
- ⑦チューブトレーニング

- **【デジリハ】**
- デジタル技術を用いたリハビリ支援ツールで、映像や音声を活用しながら楽しくトレーニングができるのが特徴です。ゲーム感覚で取り組めるため、子どもたちの意欲を引き出しながら、運動や学習のサポートに役立ちます。さらに、笠松校では3つのプロジェクターを設置しており、壁に投影して使用することで、より視覚的にわかりやすい環境を提供しています。

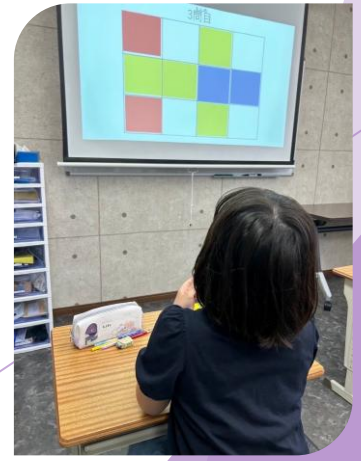
- **【スープリュームビジョンL】**
- 広いフィールドで目と身体を使い、7種類のビジョントレーニングができる視機能トレーニング機器です。動体視力や判断力、目と手の協調性の向上を目的に設計されており、スポーツ選手のパフォーマンス向上や子どもの学習能力の基礎づくりに役立ちます。

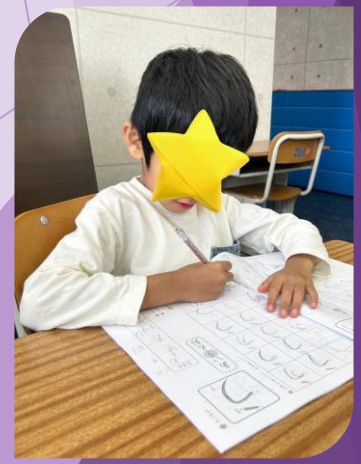
- **【一日利用時（土曜日・祝日・長期休暇）の特別活動】**
- 外出や特別行事を取り入れ、運動や活動の機会を提供します。また、土曜日2回／月でキッズヨガの講師をお招きし、ヨガを通じて楽しく体を動かしながらリラックスし、心身のバランスを整える時間を設けています。姿勢や柔軟性を高めるだけでなく、集中力や自己コントロール力の向上を目指し、友だちと一緒に取り組むことで協調性やコミュニケーション能力を育むことにもつながります。

本人支援【認知・行動】



- **【認知スキルの育成】**
- 色、比較、位置、空間認知、時間、感情、数、大きさ、図形、想像力など、基礎的な認知スキルを育てる支援を行います。これにより、学びの土台を築き、学習の進行がより円滑になる可能性を広げます。
- **【情報処理能力の向上】**
- 視覚情報や聴覚情報の処理能力を強化することで、判断力や反応力だけでなく、集中力、理解力、問題解決能力の向上も支援します。
- **【記憶力のトレーニング】**
- 一時記憶や短期記憶を鍛え、情報を効率的に保持し活用する力を育みます。
- **【専門的トレーニング】**
- コグトレ、視写、ビジョントレーニング、聞き取りなど、専門的なアプローチを活用し、認知力の向上を支援します。





本人支援
【言語・コミュニケーション】

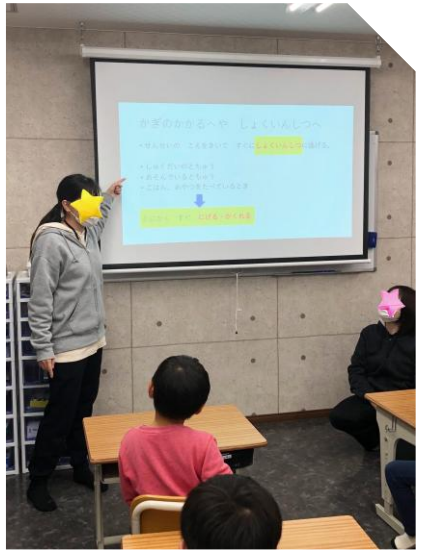
- **【言語の理解と表現の支援】**
- 具体的な体験を言葉と結びつけ、体系的な言語習得を促します。発達段階に応じた言葉や記号を用い、相手の意図を理解し、自分の考えを的確に伝える力を育むとともに、自発的な言語発生を支援します。

- **【コミュニケーション能力の向上】**
- 人との相互作用を通じて共同注意の獲得を支援し、発達段階に応じたコミュニケーションスキルを伸ばします。言葉を使ったやりとりや質問・応答の練習、相手の気持ちに寄り添った話し方や聞き方を指導します。また、必要に応じて指差しや身振り、サインなども活用し、適切な表現方法をサポートします。

- **【読み書き能力の向上】**
- 一人ひとりの発達段階に合わせた教材や方法を活用し、読み書きのスキルを高めます。文章の読み取りや文字を書く練習を通じて、基礎的な力を養い、これを日常生活や学習に役立てる力を育みます。また、興味や得意分野を取り入れた内容で、楽しみながら学べる環境を整えています。

- **【実践的なコミュニケーション活動】**
- 日常生活を想定したロールプレイや、カードやソーシャルスキルカルタを用いた活動を通じて、コミュニケーション能力を深めます。また、制作物の発表を通じて、表現力やプレゼンテーションスキルを育成します。

本人支援【人間関係・社会性】



- **【マナーとルールの習得】**
- 公園や地域の催し物、工場見学などの外出先や、余暇時間での集団遊びを通じて、適切なマナーやルールを学びます。

- **【ソーシャルスキルトレーニング（SST）】**
- 段階式の感情トレーニングや対人マナー、問題解決など、社会での対応力を養うトレーニングを行います。危険予知については、プリントや映像を活用し、具体的な場面を想定しながら考える力を育てます。また、ソーシャルスキルかるたや「こんな時どうする」「どっちがかっこいい」などのカードを使い、状況に応じた適切な行動を楽しく学ぶ機会を提供します。

- **【食育と協力活動】**
- グループ活動を通じて、食事の準備や片付けの役割分担を行い、協力する力を育みます。また、感謝の気持ちを言葉や行動で伝えることで、他者との良好な関係を築く基礎を養います。これらの活動を通じて、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ります。

家族支援

- **【見立て（発達状況の評価）】**
- お子さまの発達や特性を専門的な視点から評価し、進捗や課題を保護者と共有します。保護者と相談しながら、お子さまに最適な支援を見定め、具体的な助言を行います。

- **【計画（目標設定と支援計画）】**
- 発達段階や個別のニーズを踏まえて明確な目標を設定し、具体的な支援内容を保護者と共に考えます。計画は柔軟に見直しながら、進捗に応じて調整を行い、効果的な支援を提供します。

- **【手立て（支援方法の策定と説明）】**
- 設定した目標に基づき、具体的な支援方法やアプローチを選定します。支援プログラムの内容や意図、期待される効果を丁寧に説明し、保護者と連携しながら進捗を確認します。また、家庭で実践できる手法を提案し、保護者からのフィードバックを反映して支援を最適化します。

- **【実行（支援の実施とフォロー）】**
- 策定した支援計画に基づき、日常生活やプログラム内で具体的な支援を実施します。支援の効果やお子さまの反応を観察し、必要に応じて方法を調整します。保護者には、事業所でのお子さまの様子を観察する機会を提供し、家庭で実践可能な方法についても助言します。保護者との連携を強化し、継続的なサポートを行います。

- **【家族支援の内容】**
- 以下の内容について、対面または書面での相談やアドバイスを提供します。
- ・お子さまの発達に関するご相談
- ・支援内容やその効果に関するアドバイス
- ・家庭生活や集団活動での関わり方に関する助言
- ・兄弟姉妹との関わり方や家族内のサポートに関するご相談
- ・福祉制度や支援サービスの利用に関するアドバイス

移行支援

- ※インクルージョン（包容）の考え方に基づき、障がいの有無に関わらず、すべての子どもが地域社会で平等に成長し、次のステップに進めるよう支援しています。子どもたちが自信を持って未来へ進めるよう、必要なサポートを提供します。

- **【日常生活スキルの向上】**
- 学校や地域社会で自立できるよう、着替え、食事、掃除、時間管理などの日常生活スキルの習得を支援します。これにより、家庭や学校、さらには将来の生活において、自信を持って行動できる力を育てます。

- **【社会的スキルの向上】**
- 日常の活動を通じて、他者とのコミュニケーションや協調性、集団でのルール理解を育成します。これにより、学校生活や地域社会への適応を自然に促します。

- **【将来に向けたコミュニケーション支援】**
- 挨拶や基本的な対話スキルの習得を重視し、日常活動を通じて将来必要なコミュニケーション能力を育み、自己表現力を高める支援を行います。

- **【学校や関係機関との連携】**
- 学校や地域の関係機関と連携し、進学や進級、地域社会へのスムーズな移行を支援します。ご家族の了承を得た上で、関係機関や移行先に必要な情報を提供し、次のステージへの移行をサポートします。

- **【自己決定力の向上】**
- 自分の行動を自ら選び、責任を持って進める力を育てます。これにより、将来の進路や選択に自信を持ち、主体的に行動できるよう支援します。

- **【保護者へのサポートと連携】**
- 保護者との連携を強化し、家庭でのサポートが一貫して行えるよう、定期的な相談や助言を行います。家庭、学校、地域が一体となって子どもたちの成長と移行を支援します。

地域支援

- 家庭、学校、相談員、他事業所と連携し、共通認識をもとに一貫した支援を提供します。子ども一人ひとりに適した支援がスムーズに行えるよう、関係者との情報共有を徹底し、連携を大切にしています。また、地域全体で子どもたちを支え合う環境づくりを目指し、地域の関係機関やコミュニティとも積極的に連携を図ります。

職員の質の向上

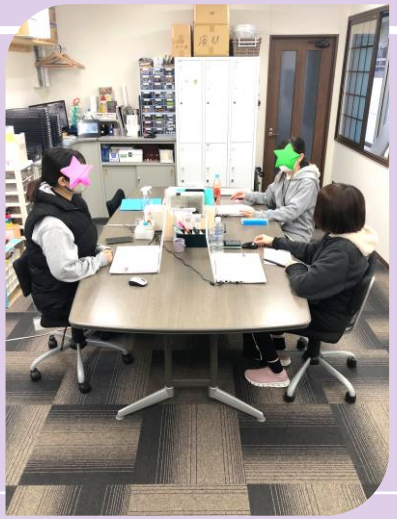
【朝のミーティングと終礼】

朝のミーティングでは、一日の予定や注意点を確認するだけでなく、当日の活動の流れや内容についても職員全員でディスカッションを行い、より良い準備を整えた上でお子さまを迎えることを心がけています。これにより、職員間の情報共有を徹底し、日々の支援の質を向上させる取り組みを行っています。
終礼では、その日の活動を振り返り、職員間で改善点や気づきを共有します。これらのミーティングを通じて、常に質の高い支援を提供できる体制を整えています。

【研修制度】

職員が必要なスキルを幅広く習得できるよう、
年間計画を立て、月に1回研修を実施しています。

・児童発達支援、放課後等デイサービスの基礎
・認知機能トレーニングの基礎および実践
・苦情対応、緊急時対応、リスクマネジメント
・感染症対策、虐待防止、身体拘束、食品衛生
・個人情報保護、プライバシー管理
・受給者証の取り扱いや利用開始までのプロセス



【その他】

支援中に気になる点が発生した場合は、その内容に基づいた特別研修を随時実施しています。さらに、外部研修にも積極的に参加し、最新の知識や技術を取り入れるとともに、基本的な支援の考え方を見直す機会を大切にしています。これらの取り組みを通じて、職員一人ひとりの成長をサポートし、より良い支援の提供に繋げています。

主な行事等

おでかけ	工場見学、公園、商業施設、体験施設での活動、買い物体験など、さまざまな場所での体験を通じて社会性を育みます。
季節行事	新春行事、節分、進級パーティー、運動会、プール、夏祭り、ハロウィンパーティー、お弁当を作ってピクニック、クリスマスなど、季節ごとのイベントを楽しみます。
認知機能（学習面）	色彩表現活動、視写、短期記憶、一時記憶、視覚情報処理（読み取り）、聴覚情報処理（聞き取り）、コグトレ、音読を通じて学習の基礎を育てます。
認知機能（運動面）	バランスクッションやバランスボードなど、バランス感覚や体幹を鍛える運動から、新聞棒を使った身体面トレーニング、ストレッチやチューブトレーニングまで、バリエーション豊かなプログラムをローテーション形式で実施します。さらに、デジリハを活用したデジタル技術を用いた療育や、スープリュームビジョンLによる7種類のビジョントレーニングを取り入れ、視覚・認知機能の向上を目指した支援も行っています。
食育	グループでの協力や役割分担、衛生管理（消毒など）、栄養素とバランスの知識、食事中のマナー、季節感、包丁などの器具の扱いを学びます。また、食と健康、文化や命の大切さについて理解を深めます。
集団活動	季節の制作、運動（上記の7種類以外）、認知ソーシャル（社会面）トレーニング、レクリエーション、避難訓練（月1回）を通じて、集団での協力や社会性を育てます。
キッズヨガ	土曜日2回／月でヨガ講師をお招きし、楽しく体を動かしながらリラックスし、心身のバランスを整える時間を提供します。ヨガを通じて姿勢や柔軟性を高めるだけでなく、集中力や自己コントロール力の向上を目指しています。また、友だちと一緒に取り組むことで、協調性やコミュニケーション能力を育む機会にもなります。
余暇	ルールやマナーを守りながら遊び、次の活動に向けた準備や片付けを行います。短時間の余暇活動を通じて、時間の意識を高めることを目指します。